

JBA NEWS

南カリフォルニア日系企業協会 会報 (月刊)

April 2010
Issue No. 258

CONTENTS

第2回JBA環境会議…………… 1-4

地球温暖化の経済への影響に
関する勉強会&ソーラーハウス
見学会報告…………… 5

2009年度活動を振り返る … 6-8

各部会からのお知らせ … 8-10

在外選挙制度のお知らせ … 11

SAVE THE DATE!!

第17回USEJ
ゴルフインビテーション
7月24日(土)
at Tustin Ranch Golf Club

April/May Event Calendar

4/16(金)
第135回ビジネスセミナー
(企画広報部会)

4/25(日)
サウスベイ・オリンピック
(サウスベイ地域部会)

4/30(金)
TOYOTA キャンパス
見学環境研修会
(企画広報部会)

5/21(金)・/22(土)
北カリフォルニア環境サイト見学研修会
(企画広報部会)

Japan Business Association of Southern California

1411 W. 190th St. Suite 270, Gardena, CA 90248
Phone : 310-515-9522 Fax : 310-515-9722

<http://www.jba.org>

Event

企画広報部会 環境委員会

第2回JBA環境会議

「地球温暖化を踏まえた企業における環境活動の
実践と今後の課題」を開催



(写真上) パネル討論会では、環境活動の課題について、それぞれの立場から意見が交わされた。左から全日本空輸の石井さん、伊原総領事、Toyo Tire Holdings of Americas Inc.の木畑さん、リコー・エレクトロニクスの山下さん、モデレーターを務めたTed Tokio Tanaka Architects 鶴浦真紗子さん(写真左下)会場では、三菱電機、INAX、日経アメリカ、総領事館による環境関連の展示や、多くの会員企業からのCSRや環境活動報告書などの配布が行われた(写真右下)当日は130名以上が参加し、会場は熱気であふれた



去る3月5日、トーランスのミヤコ・ハイブリッドホテルにて、企画広報部会環境委員会による環境会議を開催した。昨年、好評を博した第1回に続き、今年は「地球温暖化を踏まえた企業における環境活動の実践と今後の課題」をテーマに、会員企業各社の取り組みと環境活動に対する課題について、活発なディスカッションを行った。(次ページへ続く)

(1ページから続く)

環境委員会 第2回 JBA 環境会議開催

基調報告：伊原総領事

今日は次の3つのポイントでお話しさせていただきます。まず自民党政権から民主党政権になって、日本の環境活動の方針はどのように変わったか。昨年12月、コペンハーゲンで開催された気候変動枠組条約第15回締約国会合(COP15)では、何を指し、何を合意したのか。それを受けて、日本政府は今後どのような取り組みをしていくかについてです。

民主党政権前の麻生内閣では、温室効果ガス排出削減に対する中期目標として、2020年までに05年比で15%の削減を目標に掲げました。これは排出権取引を含まない純粋な削減量なので、ヨーロッパなどが基準年とする1990年比では8%削減となります。鳩山政権になり、90年比で25%削減というもっと野心的な目標を打ち出しました。これには排出権取引が含まれます。また、昨年9月の国連気候変動首脳会合で「鳩山イニシアチブ」が発表され、発展途



上国に対する資金提供や、MRV(*1)ルール作成による資金援助の透明化、知的所有権保護の枠組み確立などを打ち出しました。

*1:MRV:Measurable(測定可能)、Reportable(報告可能)、Verifiable(検証可能)の略で、こういったルールを決めようというもの

COP15での合意で 今後の国際交渉に弾み

COP15の目標は、08年から12年までの第1約束期間の排出削減義務を定めた京都議定書の後、13年以降の新しい枠組みの構築に向けた国際的な政治合意を達成しようというものでした。具体的には以下の4つです。

- ① 20年までに先進国が削減する中期目標の設定
- ② 中国、インドなどの途上国に対する目標設定
- ③ 途上国への資金、技術協力についての国際合意
- ④ 効果を可視化するためのMRVの枠組策定

開催中に各国・機関の間で「コペンハーゲン合意」がまとめられたものの、一部の国(ベネズエラ、キューバ、ボリビアなど)が反対したため合意形成には至りませんでした。しかし、アメリカ、日本、EU、中国やインドといった主要な排出国を含むほぼすべての国が賛同したことから、「コペンハーゲン合意に留意(take note)する」決

定が採択されました。これは、今後の国際交渉に弾みを付ける重要な成果だったと思います。

合意内容ですが、気温上昇の抑制では、長期目標として、産業化以前と比べて気温の上昇を2℃以内に抑えること。次に20年までの「先進国の削減目標」「途上国の削減行動」の提出。そして、途上国が支援を受けて削減した部分はMRVの対象とすることです。また、先進国は10年から12年までに合計300億ドルの支援を共同で行い、20年までには年間1000億ドルの資金援助目標を約束することを盛り込んでいます。

日本政府が進める 環境分野での取り組み

日本政府の取り組みについては、昨年12月に、「環境」「健康」「観光」の「3K」での新成長戦略が閣議決定されました。環境分野で20年までに50兆円超の市場を作り、140万人の雇用を創出し、日本の環境技術で、これまで日本が排出したのと同じくらいの温室効果ガス、約13億トン以上の削減を目標に掲げています。

実現に向けての政策としては、電力の固定価格買い取り制度の拡充による代替エネルギー利用の促進、エコ住宅やヒートポンプ等の普及によるゼロエミッションハウスの実現、蓄電池やディーゼル自動車、火力発電所の効率化などによる技術革新、炭素税等の税制改正や排出権取引制度の創設による

グリーン化、などです。今後日本が成長していく上で、環境分野は極めて重視されているということがおわかりかと思います。

今後、環境の分野で世界を引っ張っていくのは日本とアメリカであると思っています。日米関係強化の点でも非常に重要であり、これを積極的に進めていくことが大きな柱になると思います。

特別講演
ユニオンバンク頭取兼CEO
北加日系商工会議所会頭
田中正明さん

経営活動に活かす 環境活動の位置付け

民間企業としては、ビジネスとして環境活動にしっかり取り組むこと、オペレーションの効率化・コスト削減に結び付けることが重要です。従業員の環境問題に対する意識向上に向けては、経営者がリーダーシップを取り啓蒙活動を行う必要があります。また、環境問題への取り組みは、より一層お客様や株主の皆様など外部の厳しい視線にさらされると予想されますが、逆にこれをチャンスと捉え、自社のブランド価値を高める機会にできるのではないかと思います。

弊社では、「健康な地球に、健康な社会を造る」ために、さまざまな環境問題への対応や活動を行っています。

まず、代替エネルギーに対する

LOS ANGELES
DOWNTOWN

**MIYAKO
HOTEL**
LOS ANGELES

325 E. First Street
Los Angeles, CA 90012
Phone: (213) 617-2000
Fax: (213) 617-2700
www.miyakola.com

Experience Modern Japan in An All New Green Environment.

**MIYAKO
HYBRID
HOTEL**
TORRANCE, CALIFORNIA

21381 S. Western Avenue
Torrance, CA 90501
Phone: (310) 212-5111
Fax: (310) 212-5112
www.miyakohybridhotel.com

プロジェクトファイナンスですが、弊社は風力発電や北米最大の太陽光サービスプロバイダーなどへ積極的な支援を行っています。これらが供給する電力総量は4.4ギガワット、430万世帯分に相当し、お客様のビジネスを通じてクリーンエネルギーの生産に貢献させていただいております。弊社と三菱東京UFJ銀行の両行を合算した09年のプロジェクトファイナンス実績は全米トップであり、この2月には両行で共同マーケティングを開始し、より一層の強化を図ってまいります。

リサイクルや農業関係等、環境問題に取り組む産業を支援する融資も拡充しています。個人のお客様への融資では、太陽光パネルな

ど環境関連商品の購入に対し、通常より約0.25%金利が低いホームエクイティーローンを提供する等、幅広くサポートしております。

温室効果ガス削減目標を設定全社的に取組み

弊社内での取り組みですが、13年までに、08年比で9%の温室効果ガスの削減を対外的にコミットしました。システム機器、冷暖房等にエネルギー効率の高い設備を導入し、同時に年間約80万ドルのコスト削減も目指しています。また、サンフランシスコの本社ビルに対して、米国環境保護庁から、温室効果ガスの排出量が少ないビルに授与される「エナジースタ

ー」賞を頂戴しました。不要品のリサイクル・再販売や、紙や水の使用削減にも取り組み、昨年は紙の使用量を前年比で約6%削減しました。ちなみに、私は3年前、三菱東京UFJ銀行の企画部時代に全社の紙使用量を調べたところ、年間に富士山13個に匹敵する量でした。これを役員に提示して以来、弊行の役員会はパソコンを用いたペーパーレスが原則となっております。水の使用については、化粧室の改良などで、09年度は全体で前年比約14%、リトルトキョー支店単体では約45%削減することができました。また、従業員への省エネ教育の徹底により、年間約20万ドルの経費削減をまかなうことを目指します。

環境問題は人類全体で取り組んでいかなければならない問題であり、行き着くところ、「人間の生き方」につながってくるのではないかと思います。そういう意味で日本の「もったいない」という価値観、無駄なく皆で一緒に生活していくという文化を持つ国民性は、今後環境問題を考える上で重要ではないかと思います。



第2部 各社の事例紹介

Toyo Tire Holdings of Americas Inc. 木畑捷三さん

カリフォルニア州の働きかけで、1970年に自動車の排ガスを規制する「マスキー法」が成立しました。炭化水素の量を75年までに10分の1にするという厳しいもので、自動車業界から強く反発されましたが、日本の自動車メーカー各社は真剣に取り組んだ結果、マーケットシェア確保と品質向上を達成。環境問題をビジネスに取り込んだ典型的な成功事例です。

75年に燃費規制ができ、90年には無排気車の販売を命ずる州独自の

規制を制定。98年までに販売台数の2%、2001年には5%、03年には10%を販売するよう義務付け、03年の「ゼロエミッション(ZEV)規制」で、10%の無排気車のうち2%はゼロエミッション車(電気自動車か燃料電池車)、2%はハイブリッド車、6%は極端にクリーンな在来型車と規定しました。

タイヤの転がり抵抗20%減につき、燃費は2%伸びますが、07年12月に消費者へのタイヤの燃費効率表示が義務付けられました。08年12月に州ではトラック用タイヤの規制も制定し、総重量1万4000ポンドかつ全長53フィート以上で、

州内を走行するすべての長距離トレーラーに、アメリカ環境保護庁(EPA)の認定ガイドラインに適合した(SmartWay認証)製品の装着を義務付けています。

カリフォルニア州は、車やタイヤの環境問題についても最も先駆的な州ですので、ここで企業活動する我々は、より一層、意識を高く取り組んでいきたいと思っています。



全日本空輸 米州総支配人兼ロサンゼルス支店長 石井知祥さん

98年に「限りある資源と地球環境を大切に、付加価値の高い利用に努め、豊かな社会の実現を目指す」ことを基本方針とする環境理念を発表しました。99年以降、環境行動計画を策定・継続し、現在は「ANAグループエコロジープラン2008-2011」を実施中です。08年には環境省より「エコファースト企業」の認定をいただきました。

現在、CO₂の総排出量については年間平均470万トン以内とし、11年度には06年比で航空機燃料

ご家族の将来的な財産形成のためのお手伝いをします!

知識もあり丁寧で信頼できる担当者が、あなたのライフサイクルに応じた
また、それぞれの必要性にあった商品のご選択をお手伝いします。
もちろん、日本へのご帰国後もご継続いただけます。

お問い合わせは下記の日本語ラインまで、お気軽にご連絡ください。



PACIFIC GUARDIAN LIFE
Pacific Guardian Life Insurance Company, Limited

Orange Office : 333 S. Anita Dr., Suite 900, Orange, CA 92868

Torrance Office : 21605 S. Western Ave., Unit I, Torrance, CA 90501

Burlingame Office : 1350 Old Bayshore Hwy., Suite 660, Burlingame, CA 94010

明治安田生命子会社

<日本語トールフリー>

1-888-616-3780



の10%削減を目指しています。弊社のエネルギー使用量は98%が航空機の燃料ですが、エンジンの燃費改善、機内紙の減量や機内搭載品の軽量化、飛行経路の変更等さまざまな改善で、消費燃料削減の努力を重ねています。駐機中の電力には、省エネ効果の高いGPU (Ground Power Unit) を使用し、これによる年間の燃料削減効果は羽田・大阪間の約2900往復分に相当します。

今後は省燃料型航空機を導入予定です。離陸時の騒音を40%、排出ガスのCO₂を20%削減するボーイン

グ787型機を55機発注。燃料消費量が現行機より40%改善する三菱航空機のMRJも25機導入予定です。

そのほか、搭乗中に地球環境を考える機会を設けた「e-flight」や、お客様に環境保護に自主参加いただく「ANAカーボンオフセット」、また、国際環境絵本コンクールや沖縄の珊瑚再生プロジェクトなど、さまざまな環境社会貢献活動も行い、環境リーディング・エアラインを目指しています。

リコー・エレクトロニクス社
取締役社長兼CEO
山下良則さん

弊社は複写機と周辺製品を生産販売していますが、米国法人で従業員約1150名、売上は09年見込み15億6000万ドルで、01年比で約4倍に伸びました。CO₂排出量

は、01年の4万トンが約14万トンになると試算していたところ、約3万2000トンに抑えられました。

弊社のゴミ量は年間約6000トンですが、レベル1 (産業廃棄物の埋め立てゼロ)、レベル2 (一般廃棄物)に加えて、下水処理等の生活廃棄物を含むレベル3までの「ゴミゼロ」を01年に達成しました。環境活動では社員の意識改革が不可欠ですが、Refuse、Return、Reduce、Reuse、Recycleの「5R」を掲げ、全員参加の活動を実施。社員教育のほか、ゴミを使つての凧揚げ大会、「混ぜればゴミ、分ければ資源」を合言葉に、ゴミの分別収集を徹底しています。02年からは「トレジャープログラム」を始動し、全社員に環境負荷軽減の改善を提案してもらい、累積で2450万ドル

の利益向上につながっています。

04年から生産設備の軽量化にも力を入れ、トナーの粉砕設備では小型化によりCO₂排出量を約2分の1にしました。また弊社製品には環境負荷の低い植物由来プラスチックを使用しています。

今後、CO₂の排出量を50年には00年の8分の1にするという高い目標を目指していますが、これには全員参加型の活動に加えて、技術開発が必要だと思います。環境経営を進める上で、環境技術開発ができない限り、革新的な目標は達成できないと言えるでしょう。



パネル討論会

伊原総領事とスピーカーの木畑さん、石井さん、山下さんを交えて、環境経営などについて討論が行われ、最後に各人からこれからの環境活動についてのキーワードが発表された。

モデレーター (鶴浦真紗子さん) : COP15の成果について、経団連や企業団体はどういった反応をしているのでしょうか。

伊原総領事 : 50年までにCO₂排出量を半減するという目標は、さまざまな技術的革新が行われなくては達成できないもので、この大変な目標に世界を挙げて取り組んでいます。ほぼ不可能に近い目標達

成に向けて、国も民間企業もどのようにチャレンジ精神を発揮していくかが大切だと思います。

石井 : 航空業界でも、さまざまな努力を重ねていますが、やはり大きな部分は飛行機の技術革新です。投資は大変なことです。技術は日進月歩しています。

木畑 : カリフォルニア州では、CO₂排出の6割は自動車ですので、タイヤ業界の社会的使命は大きいと考えています。

山下 : 一企業が大きな投資をして、長い回収期間の技術開発を進めるには相当な体力を必要とします。

高い目標を設定するのは良いことだと思いますが、今後は産業界が互いに連携し合い、実質的な「産・官・学」が一体となった技術革新が必要ではないかと思っています。

モデレーター : 私自身も長年環境分野に携わっていますが、3つのP、Paradigm Shift、Passion、Partnershipも大切だと思います。産・官・学というキーワードが出ましたが、21世紀の環境問題の解決にはこの3つのPが不可欠ではないかと思っています。

環境活動についてのキーワード
(色紙に記載)

伊原総領事「長い目で見る」(40年先、100年先の地球環境を考えて行

動することが大切)

石井さん「“思いやり” - 人工環境と自然環境の調和」(人に対しても物に対しても、すべてに思いやりを持つこと)

木畑さん「もったいない」(日本で教えられた精神が、環境を守る上では大切)

山下さん「Glocalに生きる」(「Think globally. Act locally」)。先の事を考えて今行動する、世界の事を考えて今ここでするということが大事)



MasudaFunai

CHICAGO

LOS ANGELES

SCHAUMBURG

19191 South Vermont Avenue
Suite 420
Torrance, California 90502-1051
TEL 310-630-5900
FAX 310-630-5909

お問い合わせは
1-877-245-7500

www.masudafunai.com

サイトにて各種法律ニュースに登録
できます。

増田・舟井は、米国でビジネスを営む企業ならびに
投資家を代理する総合法律事務所です。

- ビジネス部門
- 雇用労働法部門
- 移民法部門
- 流通販売部門
- 訴訟部門
- 知的財産テクノロジー部門
- 不動産部門
- 遺産計画・管理部門
- 環境・衛生・安全法務部門

企画広報部会 環境委員会

「地球温暖化の経済への影響に関する勉強会」を開催

去る2月17日水曜日、JBA事務局オフィスにて、環境委員会主催による「地球温暖化の経済への影響に関する勉強会」を開催した。この会は、元環境委員の伊藤喜文さんの協力を得て、東京大学大学院で環境経済を研究している石見徹教授をお迎えし、現実となったもの。

当日は、約20名の参加者がJBAオフィスに参集しました。自己紹介および勉強会参加の目的を把握した上で、石見教授の近著『地球温暖化問題は解決できるかー実現可能な方向を求めて』（岩波書店）の内容を中心に、温暖化ガス排出削減の可能性を講義していただきました。

石見教授は、地球温暖化の現状と予測、所得向上と低炭素社会の両立の可能性などを、参加者らにわかりやすく丁寧に説明しました。また、ビジネスの推進と環境

保全を、どのように調和させていくのか模索している参加者からの意見も、多々交換されました。

地球温暖化問題は、個人・ビジ



ネス・政治の3つのレベルでそれぞれアプローチの方法が考慮されます。しかし、発展途上国も含めた世界全体のエネルギー消費の削減には、やはり先進国の人々がまずモデルになり、広めていくのが現実的ではないかという議論と共に、2時間があったという間に過ぎてしまいました。

今回、都合の付かなかった方々、そして石見教授の地球温暖化問題の見解についてもっと良く知りたい方は、同氏の著書を一読してみると良いでしょう。

石見 徹

1948年生まれ。71年、東京大学経済学部卒。77年、同大学院・経済学研究科博士課程単位取得退学。法政大学社会学部を経て、東京大学大学院・経済学研究科教授、経済学博士(東京大学)。専攻は、国際経済、比較経済史、環境経済



環境委員会メンバーと石見教授(右から2人目)と伊藤さん(左から3人目)

「ソーラーハウス見学会」を実施

去る2月26日(金)の午後2時30分から5時まで、カルバーシティにあるソーラーハウス見学ツアーを行った。同邸は、環境活動家でありドキュメンタリー映画『Who Killed the Electric Car?』の監督でもあるChris Paine氏の自邸(通称Marrakesh House)。約50名の参加者らが熱心に見学した。

Marrakesh House (<http://marrakeshhouse.com>)には、太陽光発電パネルを始めとして、多くの環境技術やアイデアが導入されています。この邸宅に太陽光発電パネルを設置した三菱電機の協



力で、今回の見学ツアーが実現しました。ツアーでは、邸内を移動しながらPaine氏自ら説明を行いました。さらに、三菱電機による太陽光パネルのプレゼンテーションも催されました。

同宅のエネルギーの基本は、太陽の自然エネルギーであり、自家用車は当然電気自動車！ しながら、1年を通じて太陽エネルギーの少なくなる時期にパーティーが集中してしまう皮肉な事態もあるとか。

Paine氏の場合には、環境への取り組みをモロッコ王国のMarrakesh文化に見られる色調・装飾を基調として1950年代の家屋をリフォームし、要所所で廃材の利用も行っていました。裏庭には自家農園が作られ、色々な野菜を育てています。

最先端の自然エネルギーを利用するテクノロジーと、自然で楽しい暮らし方が、個性で統一されたMarrakesh Houseでした。個人が日常生活の中で環境活動を考

え、実践する在り方の一例を学べる良い機会となりました。



邸内で説明するPaine氏(右)

環境委員会の活動や、日米の環境関連情報は、JBAのホームページ(www.jba.org)でも紹介しています。

Mazda 6

走る喜び、優れた燃費。 MAZDA 6

アメリカが認めた、MAZDA 6の信頼性。
下取り価値予測でトップクラス*。
MAZDA 6だから約束できる、信頼の走りをあなたに。

Zoom-Zoom. Forever.
MazdaUSA.com

*ALG下取り価値予測(2010年2月/3月)より、マニュアルトランスミッションが装備されたMAZDA6i Sportのメーカー希望小売価格は\$19,320に運搬費\$750が加算されます。表示MAZDA6s Grand Touringは\$28,390になります。メーカー希望小売価格には税金、タイトル、運輸およびライセンスに伴う費用は含まれておりません。実際のディーラー価格は異なる可能性があります。詳しくはディーラーにてお問い合わせください。
©2010 Mazda Motor of America, Inc.

2009年度活動を振り返る

JBAのミッションでもある「会員サービス」「教育支援活動」「地域貢献・地域融和」の3つを柱に、2009年度も各部会、委員会で、さまざまな活動が行われた。この1年に実施した主な活動を振り返る。

【商】	商工総務部会
【企】	企画広報部会
【教】	教育部会
【DT】	ダウンタウン地域部会
【SB】	サウスベイ地域部会
【OC】	オレンジ・カウンティ地域部会

会員サービス&地域貢献イベント

2009年4月

9日【企】

異業種交流会（ミキサー）

Dodger Stadium 内 レストラン「Stadium Club」にて開催



15日【DT】

第1回ビジネス研究会

Marukome USA Inc. を訪問



26日【教】

第3回大学進学シンポジウム

2009年5月

3日【SB】

第4回サウスベイ・オリンピック

カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校にて、バスケットボール、サッカー、テニスを開催



5日【SB】

敬老ナーシングホーム 母の日訪問コンサート

LA グリークラブと合同で、ガーデナの敬老ナーシングホームを訪問



16日【教】

USEJ プログラム オリエンテーション

ホリデーイン・トーランスにて、USEJ プログラムで日本へ派遣予定のアメリカ人教育者、8名を招き開催



25日【企】

LA マラソンサポート

5年目となる今回は、JBA 会員とその家族、合わせて66名がボランティア参加

30日【OC】

MLB 観戦

アナハイム・エンジェルス対シアトル・マリナーズのナイトゲームを観戦

6月

7日【OC】

第21回OC 大運動会

アーバイン高校 スタジアムで32社から192家族、572名の参加者を集め開催



11日【企】

異業種交流会（ミキサー）

サンベドロの Ports O' Call Restaurant にて開催

13日【SB】

メジャーリーグサッカー（MLS）観戦

カーソンの Home Depot Center にて、LAギャラクシーの JAPAN NIGHT を観戦

14日【DT】

さくらんぼ摘み 日帰りバスツアー

57名が、レオナバレーの農園にてピッキング、レイニア種のさくらんぼ狩りを楽しんだ

18・25日【SB】

ロサンゼルス港見学ツアー

ロサンゼルス港港湾局の森本政司さんによるレクチャーと、船による港内見学ツアーを実施



18・25日【商】

サクラメント訪問

北加日商（JCCNC）と合同でサクラメントを訪問。州政府、議会要人と意

見交換を行った。シュワルツェネッガ一州知事との面会も実現した。

29日【教】

第16回ゴルフ・インビテーション

USEJ プログラム捻出のためのゴルフイベント。

Los Coyotes Country Club にて開催した



7月

10日

Bridging U.S.A. & Japan Concert

JBA からの有志を始め、南加日商、日米文化会館、日米協会を介して参加した日系人ら総勢382人が、ディズニー・コンサートホールにて、長きにわたり練習してきた合唱の成果を披露した



8月

30日【OC】

カタリナ島日帰りツアー

9月

10日【企】

異業種交流会（ミキサー）

コスタメサの The Clubhouse Restaurant で開催

12日【OC】

サマーコンサート鑑賞

JBAニュースでは広告を募集しています

在外邦人ビジネス団体としては世界最大規模の JBA では、毎月会報誌の「JBA ニュース」を発行しています。現在毎月 3500 部を JBA 会員および、あさひ学園のご家庭に配布しています。月額料金は 1/4 ページで \$350 からとなっています。ぜひご利用下さい。



お問合せ、お申し込みは、JBA 事務局の森まで
Eメール: mori@jba.org、TEL: 310-515-9522

ビジネスセミナー&特別セミナー

4月3日【商】

第15回 JBA California Forum
 テーマ:「2009年の米国および加州の景気動向と見通し」
 「加州運転免許証の取得と注意」
 講師: ロサンゼルス郡経済開発公社 (LAEDC) ジャック・カイザーさん
 自動車局 (DMV) ジョージ・バルバーディさん

4月8日【企】

特別ビジネスセミナー
 テーマ:「新しい日本とのビジネス: 日系米国企業で成功するには」
 講師: カリフォルニア大学アーバイン校 (UCI) ジョン・グラハムさん

4月24日【企】

第126回ビジネスセミナー
 テーマ:「J-SOX: 2年目以降の対応コストの削減と経営目的達成への活用」
 講師: プロティビティ 遠山明彦さん

5月22日【企】

第127回ビジネスセミナー
 テーマ:
 「Improving Writing in English」
 講師: 東京大学計量言語学研究所 松尾真悠さん

6月12日【企】

第128回ビジネスセミナー
 テーマ:
 「在米日系企業に必要な人事管理—米国総報酬・業績評価制度の基礎」
 「Reduction In Force (“RIF”)・人事コスト削減戦略と雇用問題とリセッションサバイバル」
 講師: Ernst & Young LLP 望月良子さん、Kitagawa & Ebert, P.C. 北川リサ・美智子さん

7月24日【企】

第129回ビジネスセミナー
 テーマ:「LA港の最新事情と物流セキュリティ規制への対応」
 講師: ロサンゼルス港湾局 森本政司さん、JETROロサンゼルスセンター 水谷剛さん

9月11日【企】

第130回ビジネスセミナー
 テーマ:「異文化環境で成功するグローバルマネージメント~世界中で高いパフォーマンスを上げるリーダーの共通した特徴とは~」
 講師: Business Consultants, Inc. 金日基さん

10月9日【企】

JBA・JETRO 共催環境セミナー
 テーマ:「カリフォルニア州におけるリサイクル政策の最新事情と規制強化への対応」
 講師: California Integrated Waste Management Board (CIWMB)・Local Assistance and Market Department カオル・クルーズさん

10月23日【企】

第131回ビジネスセミナー
 テーマ:「日本人とアメリカ人、能力を発揮するチーム作り」
 講師: Japan Intercultural Consulting アンドリュー・ベンダーさん

10月29日【商】

特別ビジネスセミナー
 カリフォルニア州購買局によるセミナー
 講師: カリフォルニア州購買局 オラル・ワシントンさん

11月13日【企】

第132回ビジネスセミナー
 テーマ:「オバマ政権の医療制度改革について」

講師: ニッセイアセットマネジメント株式会社 井川智洋さん

12月18日【企】

第133回ビジネスセミナー
 テーマ:「2010年在米グローバル企業 成長戦略としてのM&A」
 講師: Deloitte & Touche LLP 内山晃一さん、正田平八郎さん、ブライアン・ボゴシアンさん

1月22日【企】

第134回ビジネスセミナー
 テーマ:「移転価格税制に関する最新動向と実践的対応」
 講師: PriceWaterhouse Coopers LLP 永藤剛基さん、大野由夏さん、筒井俊一さん、塩谷岳志さん

2月5日【企】

特別ビジネスセミナー
 テーマ:「2010年米国経済の展望と、米国産業、金利・為替市場の動向」
 講師: 三井住友銀行市場営業統括部 森谷亨さん、同行企業調査部 高田俊希さん

3月5日【企】

第2回 JBA 環境会議
 基調報告: 在ロサンゼルス日本国総領事館 伊原純一総領事
 特別講演: Union Bank 田中正明さん
 パネリスト: 全日本空輸株式会社 石井知祥さん、Toyo Tire Holdings of Americas Inc. 木畑捷三さん、Ricoh Electronics 山下良則さん

3月17日【商】

第16回 JBA Annual California Forum
 講師: LAEDC・Founding Economist ジャック・カイザーさん、California DMV・Director ジョージ・バルバーディさん

商工総務部会

南加日系企業実態調査
 ご協力のお礼

JBAがJETROロサンゼルスと共同で実施した「南カリフォルニア日系企業実態調査」へのご協力ありがとうございました。おかげさまで、約300社の会員企業の皆様からご回答をいただき、調査対象企業の7割超の驚異的な回答率を達成することができました (JBA会員以外の企業を含む調査全体では、約500社が回答)。業務が多忙の中で協力いただいた企業の皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

本調査結果の公表は5月頃を予定しており、調査レポートはJBAのウェブサイトでご発表のほか、調査結果のポイントを分かりやすくまとめた資料を、回答企業の皆様にメールにて送付させていただきます。また、本調査で明らかになった、当地の日系企業の地域経済への貢献やビジネス活動の障害・不満・要望を州政府等に伝えていくことで、日系企業のビジネス環境改善に役立てていきたいと考えています。

企画広報部会

第135回ビジネスセミナー
 開催のお知らせ

来たる4月16日 (金)、午前9時30分から正午まで、ミヤコ・ハイブリッドホテル・トーランス (21381 S. Western Ave.)にて、第135回ビジネスセミナー「移民法の最新動向: 不況が就労ビザに与える影響」を開催します。

講師には、富田法律事務所の富田有吾弁護士をお迎えします。米国移

英検

Los Angeles

EIKEN

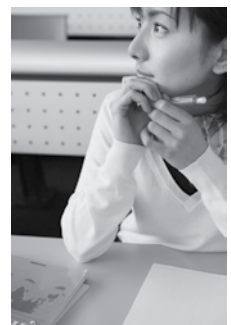
Test in Practical English Proficiency

英検2級から米国大学(院)へ入学できます!

詳細: <http://www.eiken.or.jp/ryugaku>

英検のメリット

- ① 全米320校以上の認定大学(院)への語学力証明に!
- ② 日本で編入学・入試・就職に有利!
- ③ 日本の通訳ガイド試験1級の英語試験免除!
- ④ 日本の高校・短大・大学で英語科目の単位認定有!
- ⑤ 日本の教員採用試験に有利!



財団法人 日本英語検定協会 英検LA事務局
 21250 Hawthorne Blvd Suite 500 Torrance, CA 90503

Tel: (310) 944-3840 (10:00-18:00), (310) 972-1444 (緊急用)
 E-mail: info@stepeiken.org

民局・大使館の全般的傾向、駐在員・短期出張者ビザ(E、Lビザ)、現地採用者(H-1Bビザ)、さまざまなビザの活用法などについて解説していただきます。

会費はJBA会員は無料、非会員企業の方は20ドル。申し込みはEメールにて、JBA事務局の森(mori@jba.org)まで。



教育部会

第17回USEJゴルフ インビテーショナル開催

来たる7月24日(土)、Tustin Ranch Golf Club (12442 Tustin Ranch Rd, Tustin)にて、恒例のU.S. Educators to Japan (USEJ) プログラムの資金捻出のためのファンドレイジング・ゴルフ大会を開催します。

詳細は、JBA事務局の中村(☎310-515-9522・E-mail: nakamura@jba.org)まで。

オレンジ・カウンティ地域部会

迫力の走りを間近で。スーパークロス観戦

文・Kawasaki Motors Corp., U.S.A. 栗田雅規さん

2月13日に開催されたスーパークロス第6戦は、通称「Anaheim III」と呼ばれ、Angel Stadiumのみ用意された3戦のうち、3回目にあたります。

まず、ピットウォークチケットで、各チームの舞台裏を間近に見て活躍を予想。本番は、前から10列目くらいのシートで、大ジャンプの真ん前！派手な花火やライダー紹介などの演

出で、会員たちは大盛り上がりでした。

トップライダーが繰り広げるメインイベントは、Litesクラス、SXクラス共、抜きつ抜かれつ、ちょっとしたミスが転倒を招くなど、見ている方も手に汗握る展開でした。1年を通してチャンピオンが決まるので、後半戦も目が離せません！



サウスベイ地域部会

ウニと明太子の製造現場を見学

文・EOS Accountants LLP ドンビルえみさん

3月12日、社会見学ツアーに行ってきました。「雲丹盗盗」の丸秀様と、明太子のやまやコミュニケーションズ様の多大なるご協力のおかげで、総勢15名が参加しました。

ロングビーチに工場を構える丸秀様では、サンタバーバラ産のウニがどの様に水揚げされ、工場まで運ばれて来るのか、日本とサンタバーバラで取れるウニの違いなどについてうかがいました。丁寧にウニを殻から取り出し、ピンセットできれいにしている現場も見学し、甘みたっぷりの新鮮なウニも賞味させていただき、ウニが苦手だった私も、本当においしく食べられました。

やまやコミュニケーションズ様の工場では、明太子になる卵を求め、カムチャッカ半島へ4カ月間にも及ぶス



トウダラ漁のお話をうかがいました。卵だけでも500tにも及ぶ量が捕獲され、身の部分はかまぼこなどすり身利用されるそうです。工場ではまさごや牛肉も扱っていて、まさごはアイスランドから輸入され、1番の売れ筋であること、また、オレゴンからは但馬牛とブラックアンガスをかけ合わせた牛肉が、月に90頭分入荷されるとのこと。

普段拝見することのない工場での舞台裏を見学させていただき、貴重な経験ができました。丸秀様、やまやコミュニケーションズ様、お忙しい中お時間を割いていただき本当にありがとうございました。



NHL ゲーム観戦を堪能

文・Pacific Guardian Life Insurance Company, Ltd. 河野 実さん

3月7日に、モントリオール・カナディアンズと地元アナハイム・ダックスのNHLゲーム観戦に行ってきました。



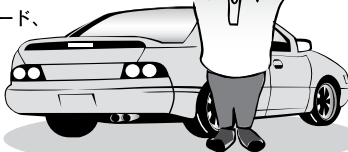
ゲームは、最終第3ピリオド残り1分30秒、3対1でリードするダックスが1点返され3対2。残り10秒、モントリオールはゴールをガラ空きにし、捨て身の6人攻撃。その執念が実りまさかの同点。延長戦にもつれこんだが決着付かず、シュートアウト(ペナルティショット合戦)に。両チーム3名のショットでも決着がつかず、サドンデスでモントリオールがゴールを射抜く決勝点を決めた。

バンクーバーオリンピック、あの北米の宿敵同士の決戦を思い出す、実に見応えあるゲームでした。

自動車リース

はアメリカでクレジットが無いと出来ないと思いませんか???

- ソーシャル・セキュリティ番号がなくても、または申請中でもOK!
- 全米どこでもOK! どんな田舎でも、都会でもOK!
- どんな車種でもOK! シビック、カローラ、カムリ、アコード、などの日本車、アメリカ車、ヨーロッパ車、何でもOK!
- リース期間は1年からOK!
- 15ヶ月とかの変則月数でもリース可能です。
- リース料は契約期間が長くなるほど安くなります。
- リース終了後は月極めで延長も可能です。
- 金利は5.45%と格安です。(2005年9月現在)
- 納金は注文からわずか一週間ほどで可能です!
- 自動車保険の手配もお任せ下さい。



*現在このリースプログラムを三菱電機社、NEC社、PANASONIC社など各企業の皆様にも全米でご利用いただいております。

いえ、出来るんです

どなたでも、全米どこの町でもOK!

お気軽に電話またはe-mailでお問い合わせください。

電話: 213-621-7775

担当は 大橋: ohashi3@pacbell.net

又はゆきまさ: yukimasa@pacbell.net

特報 カリフォルニア州の皆さんには、格安中古車リースもありますので、在庫車種をお問い合わせください。

*各種情報はウェブサイトでもご覧になれます。
www.LaJapaneseAuto.net

親切で安心して任せられる25年の実績と信頼 (トヨタで1980年創業)
LOS ANGELES JAPANESE AUTO
810 E.1st St., Los Angeles, CA 90012 • Tel: (213) 621-7775 • Fax: (213) 687-0909

ダウンタウン地域部会

ロサンゼルス市警訪問

文・Nissay Dowa General Insurance Co., Ltd. 三葉秀樹さん

2月19日、昨年9月に完成したばかりのロサンゼルス市警の新ビルディングを訪問。今回の訪問は、アジア人としては最高位のDeputy Chiefに就いているテリー・ハラ氏のご協力により実現した。

当日は、ハラ氏と2名の制服警官に案内いただき、まずは講堂を見学、次に中庭の殉職者の記念碑を見学。これまでの殉職者約200名は、記念碑の他にバッジのレプリカがビルの正面に飾られている。

次に本館に移動。犯罪時の捜査本部となる部屋には天井から大きなスクリーンが吊るされ、犯罪が発生している地域の地図や画像が表示されて、現場の状況が一目で把握できるようになっていた。勲章や記念楯で一杯のハラ氏のオフィスも見学した。

興味深い所が満載のロサンゼルス市警、2時間のツアーはあっという間に終了した。貴重な機会を与えていただいたテリー・ハラ氏に感謝します。



ダウンタウン地域部会

歩きました！早春のデスバレー

文・CHARTIS 橋本武士さん

デスバレー 1泊2日旅行が、2月20日～21日に挙行された。

西半球で最も海拔が低いという「Bad Water」は、海拔マイナス85.2m。普段は塩水湖が干上がってできた真っ白な大塩原だが、最近降った雨で水たまりが広がり、砂漠のオアシスに変身していた。

ゴールデン・キャニオンでは、約1時間のハイキング。岩の谷間のトレイルは幻想的な風景で、歩く人を飽きさせない。

この日は午後6時にホテル到着。公園内にあるStovepipe Wells Village Hotelに宿泊。夕食の後は、星空ウォッチングに皆で繰り出した。砂漠の真ん中で寝転がって見る夜空は、星が普段より何倍も近くになった感じがする。

翌日も、またまたハイキング。「Sand Dune」で砂丘を楽しんだ。「Salt Creek」は、砂漠の中を流れる塩分を含む小川。



爽やかな風、小川のせせらぎ、戯れる小魚たち、まるで周りの景色とは別世界の春を満喫した。Furnace Creekで昼食と買い物を買って、デスバレーを後に。

帰路アウトレットに立ち寄った。昼食後、ぐったりしていたはずのご婦人方も颯爽とお買い物。その後、クイズ大会で盛り上がり、楽しい余韻を残して終了した。

今回ご協力いただいた近鉄の岩澤さんの名ガイドはさすがだったし、何もないと思っていたデスバレーは、見どころ、歩きどころがいっぱい。今回、いくつもの違った世界が存在する、不思議なデスバレーの魅力にやられたのは、私だけではないはずである。

あさひ学園

あさひ学園卒業式

あさひ学園事務局

幼稚部・小学部・中学部・高等部の総勢330名が、サンタモニカ校、サンゲール校、トランス校、オレンジ校から晴れて巣立った。卒業式は父母にとっては晴れがましく、成長した我が子に時折目を潤ませていた。また、教職員にとっても毎年のことながら万感迫るものがあり、教え子の姿に落涙する恩師もいた。

小学部の卒業生は、そのまま進学する生徒も多いが、中学部を卒業する生徒は、9年間で日本の文部科学省に順ずる課程を終了し、日本語と日本文化を習得

する貴重な時間を過ごした。また、高等部の生徒は、2年間で更なる高等教育を受け、日本の大学入試にも充分対応できる学業を修めた。苦しかったこれまでの現地校との両立を労いたい。

3月13日に行われたトランス校の式典には、日本国領事館の伊原純一総領事の臨席もあり、卒業生に祝辞を贈られた。また、あさひ学園への教育事業に貢献されているマルカイ・マーケットの松秀二郎さんには、その功績に対し、あさひ学園より感謝状が送られた。

厳かな式典が終わると記念撮影となり、その後はクラスごとに恩師を取り囲み、これまでの学園生活の思い出話に笑い声と涙声が入り混じっていた。卒業生の今後の幸を祈る！

新入会員

Angeles National Golf Club
9401 Foothill Blvd.
Sunland, CA 91040
☎818-951-8771
FAX: 818-951-8791

Holland & knight LLP
633 W. 5th St.
Los Angeles, CA 90071
☎213-896-2400
FAX: 213-896-2450

Johnson & Associates
350 S. Figueroa St. Suite 190
Los Angeles, CA 90071
☎213-621-3000
FAX: 213-621-2900

National Broadband Services
3115 E. Lone Mountain Rd. #1400
North Las Vegas, NV 89081
☎702-649-8931
FAX: 702-649-8930

Polestar Business Consulting, LLC
1720 Bluebird Ln.
Carlsbad, CA 92011
☎619-227-4437
FAX: 760-930-8048

Prudential Financial, Inc.
3333 Michelson Dr. #820
Irvine, CA 92612
☎949-440-5300
FAX: 949-440-5353

連絡先変更

Acrodea America, Inc.
3020 Old Ranch Pkwy, Suite 300
Seal Beach, CA 90740
☎562-799-5576
FAX: 562-799-5501

Krin Brewery of America LLC.
21241 S. Western Ave. Suite 110
Torrance, CA 90501
☎310-381-3040
FAX: 310-320-5955

主管者変更

Mikuni American Corp.
Satoshi Fujimori ⇒ Shigeru Ikuta

NNR Global Logistics USA, Inc.
Naoki Kajii ⇒ Takekazu Matsuda

Yonekyu U.S.A., Inc.
Isao Fujinami ⇒ Kenji Ikeda

Toda America, Inc.
Satoshi Aono ⇒ Shigenori Takashima

http://www.knllp.com

21241 S. Western Ave., Suite 200
Torrance, CA 90501
Tel: (310) 320-2700 Fax: (310) 320-4630
☎sboffice@knllp.com

Kakimoto
Nagashima

LLP

Certified Public Accountants
Consultants

日本人スタッフによる信頼できるサービス

会計監査・会計全般
税務全般(企業・個人)
会計アウトソーシング
コンピューターコンサルティンク
経営コンサルティンク

在ロサンゼルス日本国総領事館より在外選挙制度のお知らせ

在外選挙では、国政選挙(衆議院議員選挙及び参議院議員選挙)に投票することができます。本年夏に予定されている参議院議員通常選挙では、比例代表選挙及び選挙区選挙に投票することができます。

在外選挙で投票をするためには、在外選挙人名簿への登録申請をして、あらかじめ在外選挙人証を取得していただく必要があります。在外選挙人証をお持ちでない方は、当館において登録申請をお願いいたします。

既に在外選挙人証を交付された方は、ご自分の在外選挙人証を大切に保管してください。なお、在外選挙人証を紛失等された方は、再交付の手続きが必要となりますので、当館へお問い合わせください。

■登録資格

- ①満20歳以上の日本国民であること
- ②当館管轄区域内に3カ月以上お住まいの方
- *なお、3カ月未満の方でも登録申請ができるようになりました
- ③在外選挙人名簿に未登録であること
- *当館で申請書をいったんお預かりし、3カ月経過時に改めて申請者の方の住所を確認した上で、手続きを再開することとなりますので、ご注意ください。

■申請書の提出方法

申請者ご本人、または在留届に記載されている同居家族等*が、当館の窓口で直接申請してください。なお、申請は、当館が実施している領事出張サービスでも受け付けています。申請書は在外公館に備え付けてありますが、総務省のホームページ(下記)からもダウンロードできます。

■申請の際に持参するもの

- A 申請者本人による申請
- ①旅券または顔写真付の身分証明書

②当館の選挙管轄区域内に居住していることを確認できる書類

(イ)申請の時点で3カ月以上居住されている方:

運転免許証、公共料金の請求書等。

ただし、在留届を在外公館に3カ月以上前に提出済みの場合は不要

(ロ)申請時に居住期間が3カ月未満の方:

申請時の住所を確認できる書類

B 同居家族等による申請

①申請者本人及び申請する同居家族等の旅券

②申請者本人が自署した申請書及び申出書

③3カ月以上の継続居住を確認できる書類

(イ)申請の時点で3カ月以上居住されている方:

運転免許証、公共料金の請求書等。

ただし、在留届を在外公館に3カ月以上前に提出済みの場合は不要

(ロ)申請時に居住期間が3カ月未満の方:

申請時の住所を確認できる書類

【ご注意】

在外選挙人登録を済ませられた方が、日本に帰国し、転入届の提出により住民票が作成されてから4カ月を経過すると、在外選挙人名簿から自動的に抹消されます。この場合には、在外選挙人証を、当該在外選挙人証を交付した市区町村選挙管理委員会に返却してください。

また、再度海外に転出される場合は、改めて在外選挙人名簿への登録申請を行っていただく必要があります。

詳細は下記のホームページをご覧ください

●在ロサンゼルス総領事館ホームページ

<http://www.la.us/emb-japan.go.jp/>

●外務省ホームページ

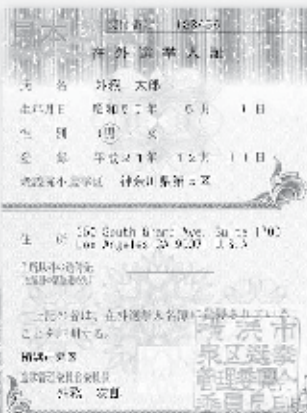
<http://www.mofa.go.jp/>

●総務省ホームページ

<http://www.soumu.go.jp/>

在ロサンゼルス日本国総領事館 祖國で活躍するあなたの一歩 在外選挙

「在外選挙人証」をお持ちですか?



本年夏には、
第22回参議院議員
通常選挙(比例代表・選挙区)
があります。

在外選挙人証未登録の方は登録申請が必要です。
また、紛失された方や、
小選挙区名のない旧様式の選挙人証所持の方は
再発給の手続きをお早めに!

詳しくは下記の電話番号にお問い合わせ頂くか、インターネットでご覧ください。

在ロサンゼルス日本国総領事館 電話(213) 617-6700

在留届を提出してください。在外3カ月以上居住する方は、在留届を提出する必要があります。

総領事館ホームページ <http://www.la.us/emb-japan.go.jp/>

総務省ホームページ <http://www.soumu.go.jp/>

外務省ホームページ <http://www.mofa.jp/>

発行	: 南カリフォルニア日系企業協会 (JBA)	部会員	: 小泉 稔 (JTB International, Inc.)
編集	: JBA 企画広報部会		: 大溝 哲也 (Kintetsu Int'l Express (USA), Inc.)
企画広報部会長	: 西森克矢 (KDDI America, Inc.)		: 前川武俊 (KPMG LLP)
副部会長	: 熊崎 猛 (Sumitomo Electric U.S.A., Inc.)		: 川嶋達也 (Lighthouse)
	: 伊藤 三郎 (Ernst & Young LLP)		: 小栗史隆 (OYO Corporation U.S.A.)
部会員	: 佐野 学 (ANA Sales Americas)		: 須藤 潤 (S-CUBED LLC)
	: 安永正法 (Calbee America Inc.)		: 鶴浦 真紗子 (Ted Tokio Tanaka Architects)
	: 田中 創 (Consulate General of Japan)		: オークランド典子 (Torrey Pines Bank)
	: 井筒謙一 (DCM Creations, Inc.)		: 小林泰子 (Tricom Quest)
	: 西川周作 (Deloitte Touche Tohmatsu)		: 西脇義浩 (Tsuchiya Gumi U.S.A., Co., Ltd)
	: 武藤 透 (Hitachi Automotive Products (USA), Inc.)		: 洲上郁弥 (United Television Broadcasting Systems, Inc.)
	: 森原 潔 (I-COM, LLC)		: 水野真琴 (Yamato Transport U.S.A., Inc.)
	: 黒田順子 (Interface in Design)	制作協力	: Lighthouse (社名アルファベット順)
	: 菊池正博 (interesse international inc.)		
	: 太田吉信 (Japan National Tourism Organization)		
	: 舟木 健太郎 (JETRO, Los Angeles)		

三菱UFJフィナンシャル・グループの一員として、国際取引と資産運用の豊富な知識と経験をもったスタッフが、お客さまの将来設計のお手伝いをいたします。詳しくは、日本語でお気軽にフリーダイヤル、または各支店までお問い合わせください。

電話番号：1-800-532-7976 受付時間：月～金 午前8時～午後5時（太平洋標準時）

Corporate Banking 213-488-3815	Downtown L.A. 213-236-7705	Downtown L.A. The Private Bank 213-236-7012	Gardena 310-354-4751
Irvine 949-250-0877	Little Tokyo 213-972-5511	Montebello 323-726-0084	
S. Gardena 310-532-5875	Torrance 310-373-8192	West L.A. 310-915-7110	



Visit us at unionbank.com/japanese ©2010 Union Bank, N.A. Member FDIC

三菱東京UFJ銀行



帰国後の住まい。

カリフォルニアにお住まいの皆様、こんな質問はございませんか？

- Q アメリカで購入したお気に入りの家具を日本の住まいに活かさないかな？
- Q 帰国子女受入校に通える場所に住みたい！でもどこが良いのかわからない？
- Q 日本に残してきた家のことはどうしよう？リフォームそれとも賃貸にする？
- Q 家を建てたい！でも海外にいて住宅ローンって借りられるの？

ご相談
そんなご質問を住友林業海外レジデンシャルグループに

住友林業ならではの“ワンストップ対応” 住友林業グループのサービス一覧
※ 地域によって、ご提供出来ないサービスもございます。

注文住宅

分譲住宅

土地の売買・
賃貸物件紹介

リフォーム

アパート・
マンション経営

マンスリー
マンション

“総合力”の住友林業 HP へ **必見** 実例公開中!! いますぐ

<http://sfc.jp/ie/kikoku/>

✉ kaigai@sfc.co.jp

帰国後の住まい

森のちからを、未来のちからに。
住友林業

住友林業株式会社 海外事業本部
海外レジデンシャルグループ (日本)
Tel: +81-3-3214-3541
Fax: +81-3-3214-3542